

中学校第1学年 美術科学習指導案

学習指導者 三豊市観音寺市学校組合立三豊中学校 真鍋 貴行

- 1 単元名 「漫画的表現」
- 2 単元計画（総時数2時間【本時1／2】）
 - 漫画表現の理解。状況に応じた技法を用いて表現する。 ……………（1時間）
 - 起承転結を考え、4コマ漫画を描く。 ……………（1時間）
- 3 授業の見どころ

本題材は漫画について、簡単な歴史や表現方法の特徴を学び、その技法を使って表現する活動である。技法を学習する際には簡単な作品例を自ら作り上げながら学ぶことによって、技法が定着しやすくなると考えた。また作品制作時には、教師をモチーフとしてシチュエーションにあった表現方法を自分で探し、制作させるようにし、生徒たちが漫画表現の面白さに気づき、制作や鑑賞の楽しみ方が増えることをねらいとした。

4 本時の学習指導

(1) 目標

- ・ 漫画表現を理解し、状況のイメージを自分なりに膨らませ、表現することができる。
- ・ 漫画表現に関心を持って制作することができる。

(2) 学習指導過程

学習内容及び学習活動	指導上の留意点・援助のポイント
1 漫画の歴史を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代の作品との違いを見つける。 ・ 漫画の移り変わりを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な作品からさかのぼり、漫画の起源「鳥獣戯画」につなげる。 ・ 今の漫画と違うところはどこか考えさせる。
学習課題 状況に合う漫画表現は何か？	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 指導の重点項目 </div> 2 漫画の表現技法をまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 表情、オノマトペ、吹き出し、漫符、効果線、コマ割り、それぞれの技法をまとめながら作品例を完成させていく。 3 漫画表現を使って作品を作る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「激辛100倍カレーを食べる先生」というシチュエーションに合う漫画的表現を各自で考え、制作する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表現技法をまとめながら、作品例が完成していくワークシートを用いて、次の制作に入りやすくする。 ・ イメージを定着しやすくするために一つずつ例を見せ、作業させる。 ・ 漫画作品のシチュエーションを説明し、どんな表現がわかりやすいか考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ◎ 「漫画の表現技法」が使えているか。 ◎ 状況に適した表現ができているか。 ・ 作品イメージが湧きやすくなるように作業中に面白い表現をしている子どもがいれば紹介する。 ・ 手の動かない生徒にはプリントや板書の例を参考にさせる。
4 まとめ <ul style="list-style-type: none"> ・ 状況に合った漫画表現について自分の作品について振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現段階で制作途中の作品に漫画的表現がどこまで使えているかチェックさせる。 ・ 残りの時間で何を描き込んでいくか考えさせる。

5 教材について

ワークシート（上：表、下：裏）

漫画で表現しよう

()年()組()番(名前)

1. 漫画の移り変わり

① 絵巻物
一枚絵で場面転換する

『
』

著作権の都合上、掲載しておりません(他3点)

② 浮世絵・絵手本
葛飾北斎『
』

③ 風刺画
初の漫画雑誌『ジャパン・パンチ』

④ ストーリー漫画
・手塚治虫 『鉄腕アトム』

平安時代
江戸時代
明治時代
戦後

2. 漫画の表現技法を使って作品例を完成させよう!

① 表情
まんがのキャラクターは、表情がとても大切で、特に目と口、まゆ毛などをデフォルメして表現することで、いろいろな表情が現れます。



② ()

コマコマが活躍し、動きを高めるために使う効果線・効果音のことです。



③ ()

登場人物のセリフを表し、形や大きさによって人物の心情や声のボリュームを伝えます。

普通
考え
大声怒
弱気悲
得意楽
無表情



④ 漫符
漫画における記号のことで、人物の心理や動作、ものの動きなどを分かりやすく表します。



⑤ ()

斜い線や太い線、線と線との間隔を工夫することで、スピード感や勢いを表します。

⑥ ()

画面を分割しながら連続した動きを見せる工夫です。基本は右から左へ、上から下へ流れるように描きます。

★ 実技問題

次の絵は漫画の1コマです。漫画の表現方法（表情・オノマトペ・ふきだし・漫符・効果線）を使って、より効果的に伝えるように描き換えなさい。

【状況】 おいしそうなカレー屋さんに入った、お腹がペコペコの真鍮先生。
勢いよく口に運んだが、そのカレーはインド人もびっくりの激辛100倍カレーだった!!

- * 動き、表情は自由に変えてもよい。
- * 鉛筆で色の濃淡（白・中間色・黒）もつけること。



アレンジ!




年	組	番
名前		

● 振り返り① (製作途中で)

表現技法	表情	オノマトペ	ふきだし	漫符	効果線
使えたら○					
【メモ】	※友達との表現で参考になったもの				
【メモ】	※完成までに描き足したいもの				

● 振り返り② (作品完成後に)

満足度	%	興味・関心	/5	
工夫したところ・気に入っているところなどアピールポイント				
感想・反省				